

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和2年 7月 10日

兵庫県知事 殿

提出者

住所 伊丹市車塚3丁目1番地

氏名 公立学校共済組合近畿中央病院  
病院長 甲村 英二

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 072-781-3712

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	公立学校共済組合近畿中央病院
事業場の所在地	兵庫県伊丹市車塚3丁目1番地
計画期間	令和2年4月1日から令和3年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	8311 一般病院
②事業の規模	445床
③従業員数	667人(令和2年4月1日)
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	7300感染性廃棄物(委託先:大栄環境株式会社) 排出⇒焼却⇒燃殻埋立 7000引火性廃油(委託先:大栄環境株式会社) 油水分離⇒焼却⇒埋立

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
・ 特別管理産業廃棄物管理責任者 (感染性等) 整形外科部長 (PCB) 主任電気技術者
・ 医療廃棄物連絡会
院内感染防止対策委員会 (病院長、担当医師、看護部長、各部署代表、ICN等18名にて構成。院内の感染対策を審議し、その方策に従って実施方法の推進・点検・啓蒙を行う委員会として、特別管理産業廃棄物の大部分を占める感染性廃棄物の取り扱いについても検討対象としている)

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	<b>【前年度 (令和元年度) 実績】</b>		
	特別管理産業廃棄物の種類	7300 感染性廃棄物	7000 引火性廃油
	排出量	117.31 t	0.45 t
	(これまでに実施した取組) 分別の徹底に加えコスト意識の啓蒙を行うことで削減に努めている。 新型コロナウイルス感染症の流行による影響もあり感染性廃棄物は増加傾向にあるが、引き続き排出量削減に努めていきたい。		
②計画	<b>【目標】</b>		
	特別管理産業廃棄物の種類	7300 感染性廃棄物	7000 引火性廃油
	排出量	117.31 t	0.45 t
	(今後実施する予定の取組) 分別の徹底、排出コストの周知による職員への意識啓蒙、新入職員を対象とした研修実施。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 大部分を占める感染性廃棄物については収集者・処分者の安全性を最優先のうえ、処分先までのサイクルを考慮し、発生源における所定容器への分別を徹底する。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 安全性等の観点から別途運用ルールを定めているものについて、効率性を考慮した分別を徹底するとともに分別方法について周知する。 (例：輸液ルート⇒針をカットせずルートごと感染性(鋭利なもの)とする)

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	<b>【前年度（令和元年度）実績】</b>		
	特別管理産業廃棄物の種類	7300 感染性廃棄物	7000 引火性廃油
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	(該当なし) t	(該当なし) t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	<b>【目標】</b>		
	特別管理産業廃棄物の種類	7300 感染性廃棄物	7000 引火性廃油
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	(該当なし) t	(該当なし) t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	<b>【前年度（令和元年度）実績】</b>		
	特別管理産業廃棄物の種類	7300 感染性廃棄物	7000 引火性廃油
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	(該当なし) t	(該当なし) t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	(該当なし) t	(該当なし) t
(これまでに実施した取組) 特になし			
②計画	<b>【目標】</b>		
	特別管理産業廃棄物の種類	7300 感染性廃棄物	7000 引火性廃油
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	(該当なし) t	(該当なし) t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	(該当なし) t	(該当なし) t
(今後実施する予定の取組) 特になし			

## (第4面)

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	7300 感染性廃棄物	7000 引火性廃油
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	(該当なし) t	(該当なし) t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	7300 感染性廃棄物	7000 引火性廃油
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	(該当なし) t	(該当なし) t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

## 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	7300 感染性廃棄物	7000 引火性廃油
	全処理委託量	117.31 t	0.45 t
	優良認定処理業者への処理委託量	117.31 t	0.45 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	102.93 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	12.24 t	0.45 t
	(これまでに実施した取組) 当院と同等規模の施設において回収実績がある業者へ委託している。 また担当職員による処分場の見学を実施し、実地での廃棄物処理手順の確認を行った。		

## (第5面)

②計画	<b>【目標】</b>		
	特別管理産業廃棄物の種類	7300 感染性廃棄物	7000 引火性廃油
	全処理委託量	117.31 t	0.45 t
	優良認定処理業者への処理委託量	117.31 t	0.45 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	102.93 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	12.24 t	0.45 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>排出者責任を鑑み、引き続き信頼できる業者へ依頼したい。 また、可能であれば施設見学を実施して現状確認を行いたい。</p>		
電子情報処理組織の使用に関する事項	<b>【前年度（令和元年度実績）】</b>		
	特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	115.73 t	
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>令和2年度より電子マニフェストを利用している。今後、更に活用できるように取り組んでいく。</p>		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。